

cado

取扱説明書

SAP-001 / SAP-002

Antibacterial Deodorizer

S A P 

001 / 002

重要

このたびは、カドー除菌脱臭機「SAP 001 / SAP 002」を
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書および
別冊の「安全上のご注意」をお読みください。
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

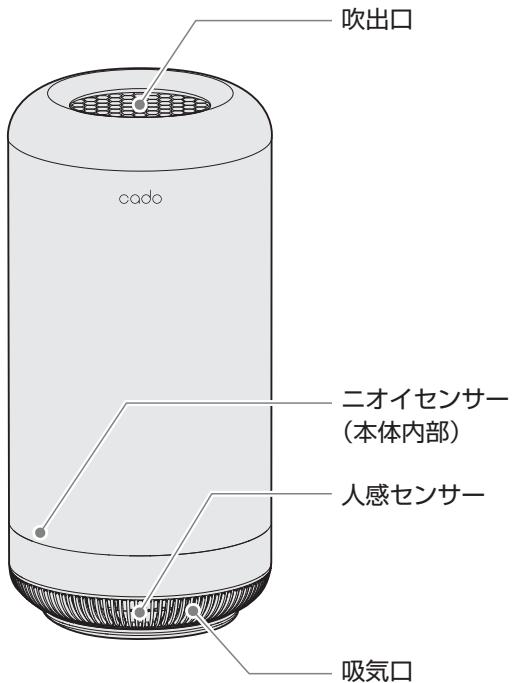
cado

目次

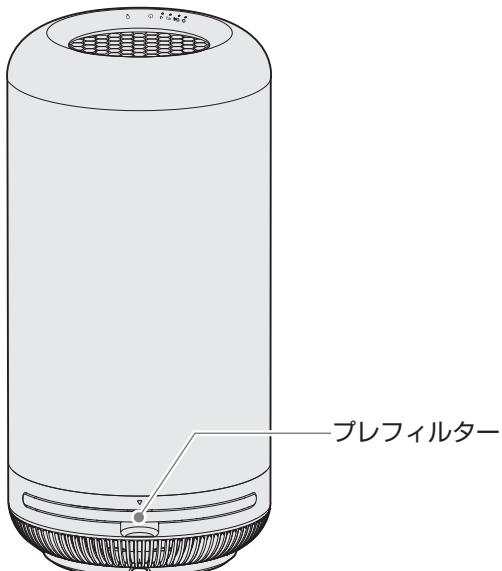
| | | | |
|-----------------|---|-------------------|----|
| 各部の名前 | 3 | ランプの明るさを変える | 10 |
| 本体正面 | 3 | 脱臭機能について | 10 |
| 本体背面 | 3 | ニオイセンサーについて | 11 |
| 本体上面 | 4 | 人感センサーについて | 11 |
| 本体底面 | 4 | お手入れのしかた | 12 |
| AC アダプター | 5 | プレフィルター | 14 |
| 本体の組み立て | 6 | 強制クリーニング機能 | 16 |
| 電源を接続する | 6 | 故障かな？ | 17 |
| 設置について | 7 | 仕様 | 21 |
| 使い方 | 8 | | |
| 操作パネル | 8 | | |
| 運転を開始する | 8 | | |
| 運転モードを変える | 9 | | |

各部の名前

本体正面

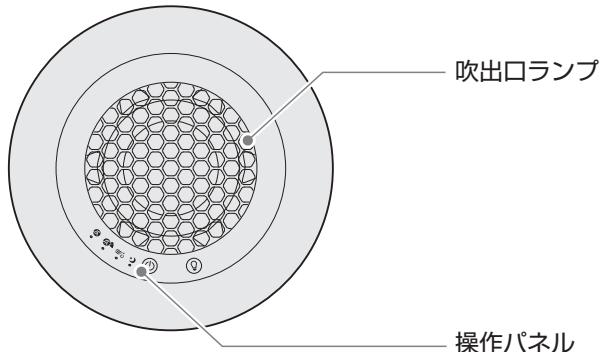


本体背面

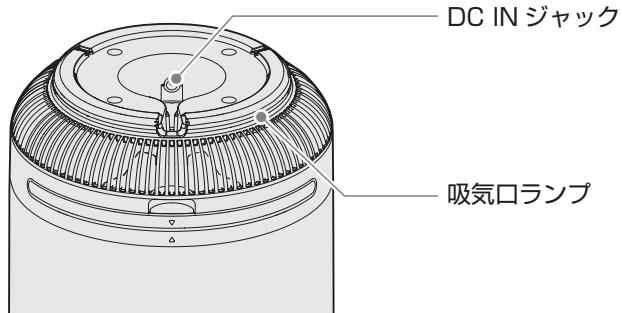


各部の名前

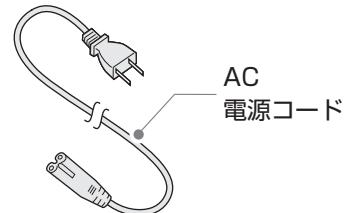
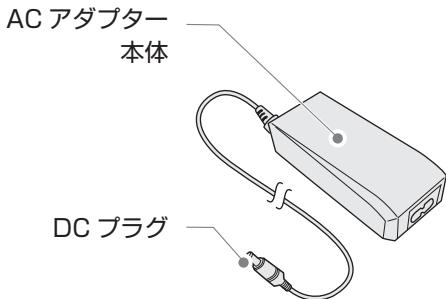
本体上面



本体底面



AC アダプター



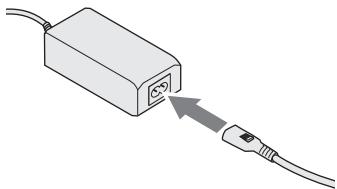
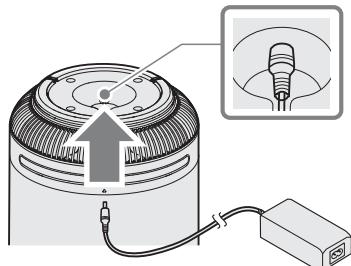
- 本製品は、空気中の有害物質（タバコの煙に含まれる一酸化炭素など）や、常時放出されるニオイ成分（ペットなど小動物自体のニオイ、建築資材等のニオイなど）をすべて除去することはできません。また、空気清浄機ではありませんので、ほこり等を効果的に除去することはできません。プレフィルターにほこりがたまる性能低下の原因となります。
- 本製品は換気ができません。閉め切った部屋で使用する場合は、定期的に換気してください。

本体の組み立て

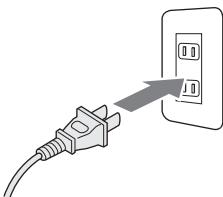
電源を接続する

!
付属の AC アダプターは本機専用です。本機以外の製品には接続しないでください。

1. AC アダプターの DC プラグを本機底面の DC IN ジャックにしっかりと差し込みます。
2. AC 電源コードを AC アダプターに接続します。

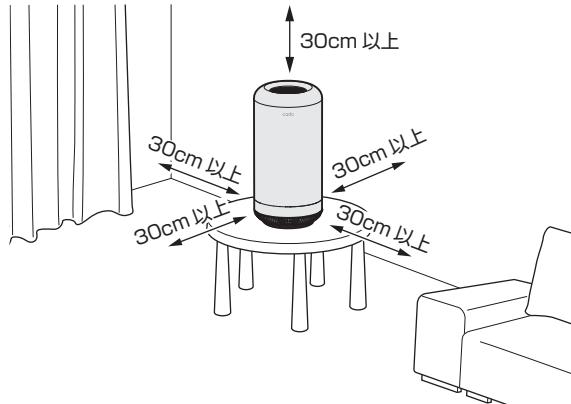


3. 電源プラグをコンセントに接続します。
電源が正常に接続されると「ピーン」という
操作音が鳴ります。



設置について

- 空気をよく循環させるために、本体の周辺には物を置かずに約30cm以上のスペースを確保してください。
- 広いお部屋で使用する場合はニオイ発生源の近くに設置すると、より効果的にご使用いただけます。



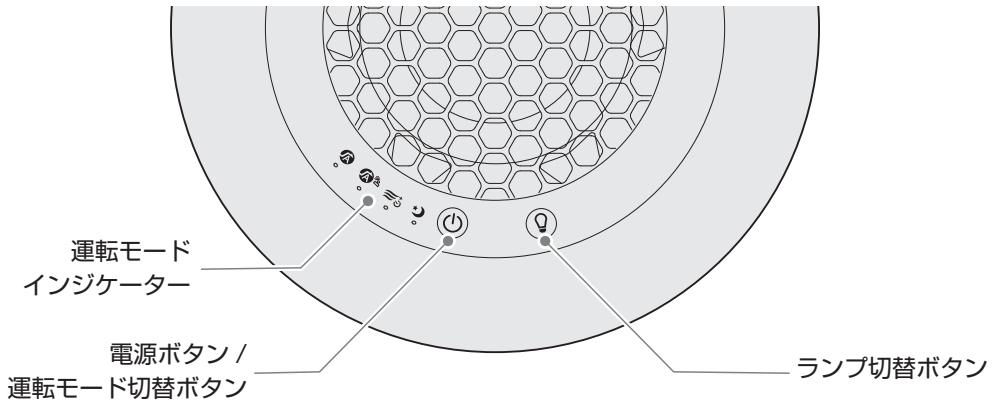
毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。本体が傾いたり、ほこりなどがつまり、故障の原因となります。



傾斜のある場所や不安定な場所で使用しないでください。落下や転倒、誤動作の危険性があります。

使い方

操作パネル



運転を開始する

電源ボタンを押します。①

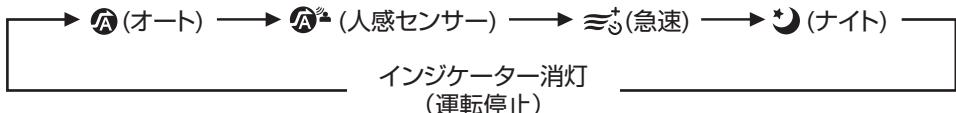
インジケーターが点灯し、オートモード ② で運転を開始します。

運転中に電源ボタンを長押しするとインジケーターが消灯し、運転が停止します。

運転モードを変える

運転中に電源ボタンを押します。↓

運転モード(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



| | |
|--|---|
| | 通常是このモードで使用します。 お部屋の状態をニオイセンサーで検知し、自動で風量を切り替えて運転します。 |
| | 人感センサーが人を感知すると、吸気口・吹出口ランプが点灯し、風量強レベルで運転を開始します。 人を検知しなくなつてから一定時間が経過すると、吸気口・吹出口ランプが消灯し、自動で風量を切り替えて運転します。 |
| | 空気を早くきれいにしたいときに使用します。 強レベルよりもさらに強い風量で運転し、2時間後にオートモードに切り替わります。 |
| | 就寝中などに使用します。 吸気口・吹出口ランプが消灯し、風量控えめで静かに運転します。 |

吸気口・吹出口ランプの照度をオフに設定した状態では人感センサーモードで人を感知しても、吸気口・吹出口ランプは点灯しません。(ランプの明るさを変える⇒ p.10)

ランプの明るさを変える

ランプ切替ボタン  を押すと、吸気口・吹出口ランプの明るさが切り替わります。



明るさを変えると運転を停止しても最後に設定した状態を保持しておくことができます。

脱臭機能について

- 本製品はオゾン生成ユニットと金属触媒により本体内部を通過する空気を脱臭する方式を採用しています。
- 調理の際の油煙や石油ストーブ・ファンヒーター等の点火・消火時に出る煙を近づけないでください。油煙に含まれる成分が内部で固着して分解しきれず、吹出口からニオイが発生する原因になります。
- 運転中にカチッという音が聞こえることがあります、脱臭性能を回復させるためのオートクリーニング中の機械音であり異常ではありません。
- ニオイの取れ方が弱くなったと感じた場合は、本体に内蔵されている金属触媒を再生させることができます。(強制クリーニング機能⇒ p.16)

ニオイセンサーについて

- ニオイセンサーは、タバコやトイレ、ペットなどから発生する生活臭に含まれるガス成分を検知します。
- ニオイセンサーは、スプレーから出るガスやアルコール成分、温度や湿度の変化にも反応することがあります。また、ニオイが強くてもガス成分が少ない場合は、反応しないことがあります。
- ニオイセンサーは室内の空気の状態を相対的に検知します。このため、ニオイが強くてもニオイの強弱に変化がない場合は、センサーが反応しないことがあります。
- 電源コードを接続してから約2分間はセンサーの初期化を行っており、正確な検知ができません。また、初期化時の空気の状態を基準に動作を開始するため、室内の空気がきれいなときに電源コードを接続することをおすすめします。

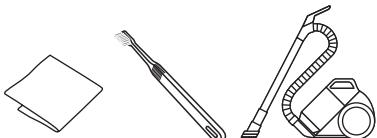
人感センサーについて

- 人体などから放出されている赤外線の変化から動きを検出するセンサーです。
- 人感センサーの特性上、正面から近づいてくる人や、静止した状態やゆっくりした動き、急激な動きは検出できないことがあります。
- 次のような場合は検出しないことがあります。
夏場や室内暖房により気温が人体の表面温度に近い場合(床暖房の上に設置した場合は、特に検出されにくくなります)、厚手の服を着ている場合、人感センサーの前方にガラスなど温度変化の検出をさまたげたり、反射するような物が置いてある場合
- 次のような場所では、誤検出があります。
直射日光の当たる場所、エアコンや暖房器具など温風があたる場所、電子レンジや携帯電話など強い電磁波を発する製品の近く、LEDや蛍光灯など強い発光物の近く、ペットなど小動物が検出範囲に入った場合

お手入れのしかた

- お手入れをせずに使用を続けると、ほこりなどがたまり、性能を十分に発揮できなくなる可能性があります。定期的にお手入れを行ってください。(月1回以上を推奨)
- 定期的なお手入れが行われない場合、汚れなどによる故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

市販のやわらかい布やブラシ、掃除機などを用意すると便利です。



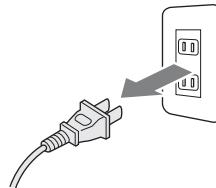
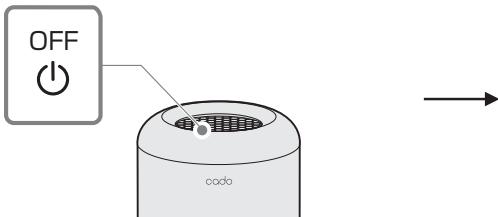
しつこい汚れには水で薄めた中性洗剤を使用してください。



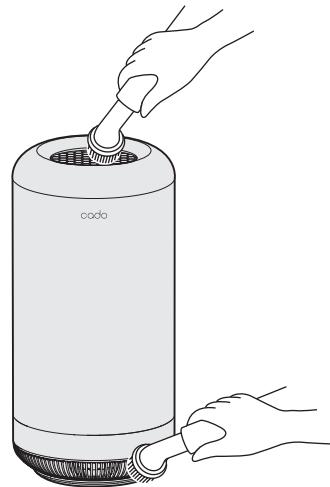
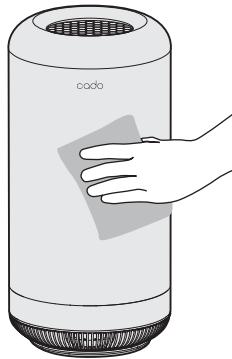
- 中性以外の洗剤は使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。
- 洗浄後はきれいな布などで中性洗剤を十分に落としてください。
- 本体をお手入れする際は、水や液剤などが吹出口から本体内部に入らないようご注意ください。

!
硬いブラシは使用しないでください。
本体を傷つける可能性があります。

1. 本体の電源をオフにして電源プラグをコンセントからはずします。

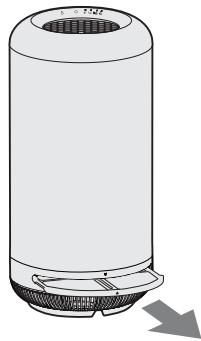


2. やわらかい布で本体のほこりをふき取ります。
3. 吸気口、吹出口のほこりを掃除機などで吸い取ります。または、やわらかい布でふき取ります。



プレフィルター

1. 本体背面のプレフィルターをはずします。



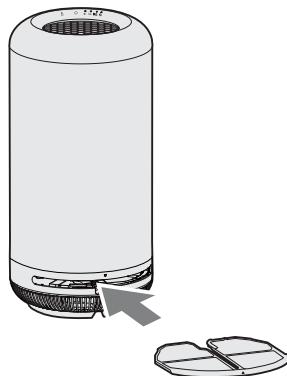
2. 掃除機などでプレフィルターに付着したほこりを吸い取ります。汚れがひどい場合は、中性洗剤をつけた柔らかいブラシなどでプレフィルターを洗い、よくすすいだと、十分に乾燥させます。





- !
- ・ プレフィルターの表面は掃除機で強く吸いすぎたり、ブラシで強くこすらないでください。プレフィルターが破損(破れたり、けば立ち)する原因となります。
 - ・ プレフィルターに水気が残ったまま、本体に取り付けないでください。ニオイやカビの原因となります。

3. プレフィルターを本体に取り付けます。

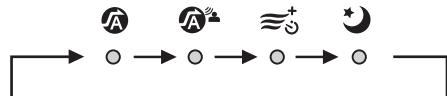
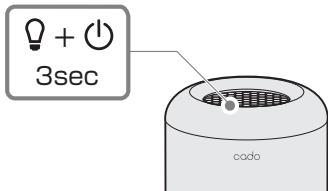


強制クリーニング機能

ニオイの取れ方が弱くなったと感じた場合は、本体に内蔵されている金属触媒を再生させることができます。

!
強制クリーニング中は、内部の金属触媒を回転しながら連続加熱するため本体表面が温かくなります。また、吹出口から温風が出たり、本体内部からカチッという音が聞こえることがありますが異常ではありません。

1. 本体の運転が停止した状態で、ランプ切替ボタンを押したまま、電源ボタンを3秒以上長押しします。
2. 「ピーン」と音がして、インジケーターが下記の順にくりかえし点灯し、強制クリーニング機能を開始します。



3. 強制クリーニング機能を開始してから約16時間が経過すると、すべてのインジケーターが消灯し、自動で運転を停止します。強制クリーニング機能運転中に、電源ボタンを押した場合も同様に運転を停止します。

故障かな？

| 症状 | 確認事項 | 対処 |
|---------------------|--|---|
| 電源が入らない | AC 電源コードが AC アダプター本体およびコンセントに差し込まれていますか？ | AC 電源コードを AC アダプター本体およびコンセントにしっかりと差し込んでください。 |
| | DC プラグが本体に差し込まれていますか？ | DC プラグを本体底面の DC IN ジャックにしっかりと差し込んでください。 |
| 風が出ない 風量が少ない | プレフィルターや本体の吸気口、吹出口が汚れていませんか？ | 「お手入れのしかた」⇒ p.12 にしたがってほこりや汚れを取り除いてください。 |
| 空気がきれいな状態でも運転が停止しない | 運転中は空気がきれいな状態でも、弱い風量で運転を継続します。 | 空気がきれいな状態になると風量が弱くなります。風量を増やしたい場合は急速モードを使用してください。 運転を停止したい場合は、電源ボタンを長押ししてください。 |

| 症状 | 確認事項 | 対処 |
|------------------------|------------------------------------|---|
| ニオイが強い場所に設置しても風量が変わらない | 周囲に障害物があるなど、空気の循環が悪いところに設置していませんか？ | 本体の前後、左右と上方は、壁、家具、カーテンなどから約30cm以上離してください。 |
| | プレフィルターが汚れていますか？ | お手入れをして、プレフィルターのほこりや汚れを取り除いてください。 |
| | 電源コードを接続し、電源を入れてから2分以上たっていますか？ | 電源コードを接続し、電源を入れてから約2分間はセンサーの初期化を行っており風量が弱くなります。初期化の際はきれいな空気の場所で行ってください。(ニオイセンサーについて⇒p.11) |
| ニオイが取れにくい | 周囲に障害物があるなど、空気の循環が悪いところに設置していませんか？ | 本体の前後、左右と上方は、壁、家具、カーテンなどから約30cm以上離してください。 |
| | 本体の吸気口、吹出口やプレフィルターが汚れていますか？ | 「お手入れのしかた」⇒p.12を参照し、ほこりや汚れを取り除いてください。 |
| | ニオイの成分が多すぎませんか？ | 設置場所やニオイの状況によっては効果が弱くなります。必要に応じて設置台数を増やすことをご検討ください。 |

| 症状 | 確認事項 | 対処 |
|-------------|------------------------------|---|
| 本体のニオイが気になる | 本体の吸気口、吹出口やプレフィルターが汚れていませんか？ | 「お手入れのしかた」⇒ p.12 を参照し、ほこりや汚れを取り除いてください。 |
| | ニオイの強い部屋で長期間使用していませんでしたか？ | ニオイの強さや成分によっては本体内部にニオイが定着し、吹出口からニオイが発生する場合があります。ニオイがなくなるまで風通しの良い場所で急速モード運転を行ってください。 |
| | 吹出口よりわずかにオゾン臭が発生することがあります。 | 消臭成分として微量のオゾンが発生しますが異常ではありません。ニオイの成分などに接触したり、一定時間が経過することで酸素に戻ります。 |

| 症状 | 確認事項 | 対処 |
|---|---|--|
| 運転中にカチッという音がする | 脱臭性能を回復させるためのオートクリーニングが定期的に実施されます。 | 本体内部の動作音であり異常ではありません。 |
| 運転中にジーという音がする | 内部でオゾン生成時に音が発生します。運転モードにより大きく感じたりすることがあります。 | 本体内部の動作音であり異常ではありません。 |
| 操作パネルの運転インジケーターが2つ以上同時に点滅しながら「ピピッ」と警告音が鳴る | 本体内部に異常が発生しています。 | 電源ボタンを押すと、警告音が停止します。電源コードをいつたん抜き、本体内部に異物がないか確認してください。警告音が続く場合は、お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。 |

仕様

SAP 001 / 002

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 型名 | SAP-001 / SAP-002 |
| 電源 | DC 24V (AC アダプター100-240V 50-60Hz) |
| 消費電流 | 1.8A |
| 運転音 | 40dBA (急速モード) 26dBA (ナイトモード) |
| 外形寸法 | 直径約 170 mm × 高さ約 350 mm |
| 重量 | 約 2.3 kg (本体のみ) |
| 電源コード長 | AC 電源コード：約 0.7 m DC 電源コード：約 1.8 m |
| 付属品 | 取扱説明書、安全上のご注意、保証書、AC アダプター、AC 電源コード |

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本製品は国内専用です。電源や法規制の異なる海外では使用できません。
国外に持ちだされた製品は、保証期間内であっても修理サービスの適用外です。

This product is for domestic use only and cannot be used in any other country with different voltages, frequencies, laws and regulations.

The warranty is only valid in the country the product was purchased and the product brought outside the country is not eligible for warranty repair services.

製品に関する最新情報
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00
土・日・祝、弊社休業日を除く

株式会社カドー

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

cado

取扱説明書

安全上のご注意

SAP-001 / SAP-002

Antibacterial Deodorizer

S A P



001 / 002

安全上のご注意

本書について

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項について記載しています。ご使用前に、この「安全上のご注意」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、本書に記載されている内容は必ずお守りください。誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分した上で記載しています。

表示の説明



「死亡または重傷を負う
おそれがあること」を示し
ます。



「傷害を負う、または財産に
損害を与えるおそれが
あること」を示します。

図記号の説明



「してはいけない禁止事項」
を示します。



「必ずしなければならない
強制事項」を示します。



警告



禁止

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。

■電源コードを破損させない。

ショートや断線して感電や火災の原因になります。

- 加工したり、傷つけたりしない。

- 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。

- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

- 電源コード部分を持って引き抜かない。

- 持ち運び時に電源コードを引っ張らない。

- 破損した電源コードは使用しない。万が一電源コードが破損した場合は、お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■本体付属のACアダプター以外で使わない。

本体故障、火災や感電の原因になります。

■定格電圧以外で使わない。

火災や感電の原因になります。

■延長コードの使用やたこ足配線、配線器具の定格を超える使い方をしない。

感電や発熱による火災の原因になります。

■分解、改造、修理しない。

火災や感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■下記の場所では使用しない。

- 可燃性ガスや金属製のほこりがある場所
引火や本体への吸引による発火・発煙の原因になります。

- 屋外・浴室など、高温・多湿・水のかかる場所
漏電による火災や感電の原因になります。

- 機械油や食用油の油成分が浮遊している場所
本体にひびが入り、電源部やファン部分が露出し、感電やけがの原因になります。

■水につけたり、水をかけたりしない。

火災や感電の原因になります。

■火のついたタバコや線香を近づけない。

火災の原因になります。

■吸気口、吹出口、本体のすき間などに指や金属物など異物を入れない。

ケガ・感電・ショート・発火の原因になります。



警告



禁止

■ お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。

洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害するおそれがあります。

■ 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れない。

感電のおそれがあります。



警告



指示

■ 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む。

差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。

■ 異臭や、機器の異常を感じたときは、ただちに使用を中止する。

電源コードを抜き、サポートセンターまでご相談ください。

・電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいコンセントは使わない。

■ 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布でふき取る。

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

■ お年寄り、お子様、体の不自由な方、意思疎通が困難な方には、保護者や安全責任者から適切な指導監督を受けない限り、単独で使用させない。

■ 使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。

不意に動作した場合、感電やケガの原因になります。

■ お子様が玩具として遊ばないよう注意する。

思わぬケガや誤飲、本体故障または感電の原因になります。



注意



禁止

■ 不安定な場所には置かない。

落下、転倒すると、けがや故障による感電の原因になります。

■ 本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。

転倒により、破損・故障の原因になります。

■ 吸気口や吹出口をふさがない。

空気の循環が悪くなり、発熱や発火の原因になります。

■ プレフィルターをはずしたまま運転しない。

清浄効果が出ないばかりでなく、故障の原因になります。

■ 台所で換気扇のかわりに使用しない。

プレフィルターや本体内部の部品に油分などが固着して、ニオイがしたり、本体の変形や故障の原因になります。

■ 直射日光の当たる場所やエアコン、暖房器具の風の当たる場所には置かない。

本体の変形や変色、故障の原因になります。

■ お手入れの後は、水分を十分にふいてから乾かし、ぬれたままでは使わない。

感電や故障の原因になります。

■ ベンジン、シンナーでふいたり、殺虫剤などをかけたりしない。

ひび割れや感電、引火の原因になります。

■ 発煙タイプの殺虫剤を使うときは、運転しない。

蓄積した薬剤成分が、あとで使ったときに放出され、健康を損なう原因になります。

■ 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多い場所では使用しない。

磁気の影響で正常に動作しないことがあります。

■ テレビやラジオの近くでは使わない。

映像の乱れや雑音の原因になります。(テレビやラジオからは、1m以上離して設置してください。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は、別のコンセントに電源プラグを差し込んでください。)



注意



禁止

■ 長時間、同じ場所で使わない。

長時間同じ場所で使うと、本体周辺の壁や机が汚れことがあります。定期的に設置場所を移動することをおすすめします。

■ 長時間、木製の床や家具などの上に直接置かない。

長時間同じ場所に置くと、本体底面のゴム足の痕が設置面に残ることがあります。設置場所を定期的に変更するか、または市販の家具用傷防止シートなどを使用してください。



注意



指示

■ 移動するときは、本体からはずれる部分を持たない。

落下によるケガや故障の原因となります。

■ 本体を転倒させたり、強い衝撃や振動を与えない。

衝撃により破損した場合、破片でケガをするおそれがあります。

■ 燃焼器具と一緒に使うときは必ず換気する。

本製品は換気ができません。そのため、燃焼器具から発生する一酸化炭素による中毒の原因になる場合があります。

株式会社カド一 〒108-0071 東京都港区白金台 4-2-11

